
係り結びとは？

文の途中に特定の助詞（係助詞）があると、
文末の活用形が変わるルールのことです。

5つの「係助詞」

ぞ

ぞ

強意

なむ

強意

?

や

疑問
反語

?

か

疑問
反語



こそ

強意



結びは連体形になる



結びは已然形になる

例文①：「ぞ」・「なむ」・「こそ」（強意）

係助詞なし

山里 寂し。

※文末は終止形“寂し”

係助詞あり

山里ぞ 寂しかる。

山里なむ 寂しかる。

※文末は連体形“しかる”

山里こそ 寂しけれ。

※文末は已然形“しけれ”

例文②：「や」・「か」（疑問・反語）

係助詞なし

山里 寂し。

※文末は終止形“寂し”

係助詞あり

山里や 寂しかる。

山里か 寂しかる。

※文末は連体形“しかる”

係り結びは、

書き手の

『強調したい』『問い合わせたい』という

『心の声』を読み解くカギです。

ここは空白ページです